

ご降誕号

11, 12月

カトリック笹丘教会だより
No.0097



命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことが。それを見いだすものは少ない。(マタイ7・14)





皆様、クリスマス、おめでとうございます。

今年は、特別な状況の下、クリスマスを迎えました。このような状況の中で、私達は、どのようにクリスマスを祝えば良いのでしょうか。

クリスマスに先立つ4週間、私達は、待降節を過ごしてきました。待降節は、2000年前、私達の世界に来て下さった、救い主を待ち望んでいた人々の心に合わせ、私達もその記念の為に、新たに準備をする期間でした。待降節のもう一つの目的は、2000年前、幼子としていらしたイエス様が、世の終わりに、力に溢れた裁き主として来られる、その到来に備えて、心の準備をする期間でもありました。更に待降節は、私達の日常生活の中に来て下さるイエス様について意識する日でもありました。日常生活の中で、ご聖体を通して、御言葉を通して、様々な出来事を通して、イエス様が私達の内に来られます。

出来事を通して、私の内に来られるイエス様を、私が初めて経験したのは、大学生の頃です。大学の夏休み期間中、私は、大学生が、自分達で主催する、中学生の為のサマースクールのスタッフのアルバイトに応募しました。例年、集められるのは、地元の大学生と、在京の大学生の中で、帰省している人達でした。私は、そのスタッフの一人として、働かせてもらう事となって、当初喜んだのですが、その喜びは長続きしませんでした。大変な事が待っていました。スタッフの中に、少々ヒステリックな上級生の男子学生がいらっしゃり、私は彼と馬が合わず、苦しい毎日を過ごす事となりました。子供たちに何かを教える上で、教える側のチームワークの大切さを痛感したのはこの時でした。この時、私は、スタッフの中の一人で、私と同級生で、ミッションスクール卒業生の女の子に、この悩みを吐露してしまいました。その時、彼女は、「イエス様にお祈りすれば良いですよ」と私にアドバイスしてくれました。私は、その夜、自宅に帰り、自分の部屋に閉じ籠り、跪いて祈りました。「イエス様、助けて下さい」と。するとどうでしょう。次の日、私は、彼に落ち着いて接する事が出来たのです。彼の、私に対する態度は変わりませんでした。けれども、私は彼に、落ち着いて接する事が出来たのです。私は、この時初めて、イエス様の訪問を受けました。

今年のクリスマスで、私達は、二千年前、この世に誕生された、イエス様の誕生を喜びましょう。また、私達の日常生活において、私達の心に来て下さるイエス様の事を思い出し、その事に感謝を捧げましょう。



カトリック笹丘教会 役員会議事録(要約抜粋)

開催日時:2020年12月12日(土)16:00~17:30 開催場所:信徒会館

議題

1. 報告事項

- (1)クリスマスバザー、空気清浄機購入設置、西原村お米支援結果について確認。
- (2)フランスコ教皇来日公式記録DVDについては購入受付を12/20まで行いまとめて注文する。1組6千円以上の献金となっている。

2. クリスマス

(1) 典礼

キャンドルサービスは行わない。チェロの演奏と詩の朗読なし。ヴァイオリン演奏については未確認。

(2) ミサ参加申し込み状況

12/24(木)17:00が今のところ83名で一番多い。他のミサは概ね30名前後。

(3) 整理券準備と配布方法

整理券準備完了。封筒に入れて五十音順にテーブルに並べて置き、今日の夜から渡す。

(4) ミサに参加できる人数・座席配置については申し込み状況を参考に検討する。

(5) 受付・司会

受付は整理券を確認する。司会者用に注意事項等シナリオを用意する。聖体拝領時と退堂時に密にならないような配慮が必要。消毒の協力も願います。

(6) クリスマスプレゼントは人数制限をするので、300個準備する。

(7) クリスマス前のゆるしの秘跡の予定表をお知らせに掲載している。

3. 成人祝福式

1/10(日)10時のミサで行う。記念品は在庫を確認後準備する。

4. その他

(1) 来年度役員選出方法について

1月に掃除の後残ってもらい、どういう方法で選出するかを、グループごとに話し合ってもらおう。1/10:Cグループ、1/17:Dグループ、1/24:Aグループ、1/31:Bグループ。2月一杯までに各グループから候補者2名を選出してもらおう。3/14に候補者に集ってもらって役職について話し合っていたら。

(2) 「教区ヴィジョン」と優先課題への提言

12/18までに小教区の意見を福岡地区の責任者である杉原神父様に提出することになっている。笹丘では2回アンケートを実施しているので、出された意見を参考に、遠山神父と川原会長で話し合い、報告をまとめる。



前号で私が昨年イスラエル巡礼の旅に参加したことをご紹介いたしました。この旅はすべてが感動の連続であり、具体的に文章にすることが大変難しいのですが、巡った場所とちょっとした記録を紹介させていただきます。今回は、5日目までの記録です。

11月28日 1日目 福岡空港発 ベングリオン空港着 (イスラエル テルアビブ)	➔	2日目 カイザリア (カイザリア) ハイファ ティベリア	➔	3日目 タブハ タポール山 ナザレ ティベリア	➔	4日目 タブア ティベリア	➔	5日目 アルベル マグダラ バーアス	➔	6日目 ヨルダン エリコ クムラン エンボケック (死海)
7日目 マサダ エルサレム	➔	8日目 ベツレヘム エルサレム	➔	9日目 エルサレム	➔	10日目 エルサレム エマオ ヤッフォ	➔	12月8日 11日目 帰国		

イスラエルは地中海に面する中東の国で、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地で有名です。イスラエルとは、ヘブライ語で「神の支配」を意味するそうです。



テルアビブの風景

私のイメージは、聖地であるものの、戦争や銃撃戦等、怖いイメージもあり、行く前と空港に到着した時、少し不安な面もありましたが、翌日テルアビブの町を離れ、しばらく走ると静かで穏やかな美しい景色が広がり、日本でいうと秋の雄大な阿蘇の景色に似ている気がして、ホッとしました。



カイザリアの町

最初にカイザリアという海辺の美しい町に行きました。ヘロデ大王が築いた古代都市だそうです。大きな石で造られた、ローマ時代の円形劇場や闘技場、十字軍時代の要塞跡、教会、水道橋がありました。特に闘技場は、私の中で映画ベンハーの戦車での戦いの場面が目の前に広がり、そこに自分がいるような思いでした。



水道橋



闘技場

次にパンと魚の奇跡の教会。皆さまご存じの通りイエス様が5つのパンと2匹の魚を増やされて5000人を満腹にされた所です。



ナザレの町に入りました。受胎告知の教会、マリア様をご両親と住んでいた家でお告げを受けられた場所でした。

聖家族教会。イエス様が、ベツレヘムでお生まれになった後にご家族で暮らされたといわれ、あまり広くない白い石の洞窟でした。その時代は家畜が重要で、家畜がいる洞窟は広々としていました。

ガリラヤ湖(周囲53km、面積166km²、最大水深43m、海拔-213m)。海拔においては、死海の次に低いとされています。イエス様が湖面を歩かれた奇跡、嵐を鎮める奇跡等、とても雄大で物静かな夕陽も、ひととき美しく感じられました。

そんなガリラヤ湖の遊覧船に乗りました。5か国くらいの方々と乗り合わせ、船上では、各国歌が流れ、その後、みんなでフォークダンスを楽しみました。国の距離を感じさせない一体感で、とても感動しました。



ガリラヤ湖の夕陽



シナゴグ跡

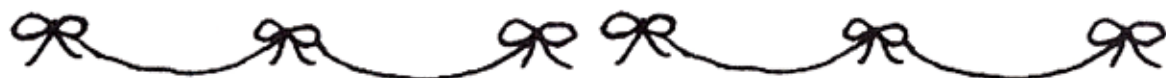
マグダラの町(漁村)。私の霊名「マグダラのマリア」の出身地で、とてもんびりと、静かな海辺の町で身近な感動を覚えました。ここには、イエス様が説教された会堂シナゴグ跡もあり、いまも発掘が続けられているとのことでした。

カナの教会。イエス様が結婚式で水をワインに変えられた奇跡の場所です。ここでは「夫婦が気持ちを新たにして、これからを誓い合う」という結婚の「更新式」を受けることができ、今回参加の8組のご夫婦が祝福を受け、証明書をいただきました。今まで重ねてきた絆をより一層深める事ができる素晴らしい儀式だと思いました。

次回号につづく



カナの教会にて



祝七五三 11月22日

コロナ禍にあっても、子供たちが元気にすくすくと成長しますように…。



祝福の聖水



御メダイと嬉しい千歳飴

私の聖人・好きな聖人



洗礼名を選ぶとき、神父様が「この中から選んだらいいよ」と本を貸してくださいました。一通り読んでも、ピンとくるものがなく、迷っていたら「代母の方と同じというのもいいですよ」といわれ、マリア・ローザとという響きも好きですし、代母の方も尊敬していたので迷うことなく決めました。マリア・ローザはアフリカの祈りのシスターと聞いています。

マリア・ローザ 有井和恵(1班)



洗礼名は代母の石橋洋子さんの霊名を選びました。マリア・マグダレナはイエス様のご遺体が墓の中から消え去ったことを知る第一発見者です。

私の母、アガタ竹田昭代について。父は信者ではありませんでしたが、私が購入した4人入る納骨室にすでに眠っています。洗礼を受けていないのに納骨室に納める許可をいただいたことに、申し訳なさを感じていました。昨年、母の命はもう長くないという状態にみえたため、神父様にお葬式の件を相談しました。すると洗礼を授けましょうという事になり、入院先で、聖水を綿花に含ませ額に垂らしていただきました。母の誕生日が2月6日。聖アガタおとめの殉教記念日。霊名は神父様から迷わずその名を選んでいただきました。おかげ様でその後も母は私と一緒に過ごすことができ、この12月に私の傍で静かに息を引き取りました。

マリア・マグダレナ 西山淳子(1班)



好きな聖人の中でも、特にリジューの聖テレジアは、5人姉妹で育ち、感受性が強い人だったというところに親近感を覚える。テレジアは、平凡なことを非凡な愛で行った聖人だ。これは平凡な人々に大きな希望を与える。彼女の『幼子の道』『小さき道』と呼ばれる生き方が私は好きだ。ひたすらイエス様に全てを委ね、自分を小さくし、人知れず大きな愛を注ぎ続けた、この聖人の生き方に倣いたい。

マザー・テレサは、テレジアの意思を受け継いでいるように思う(テレサ=テレジア)。二人の言葉には共通する部分がとても多い。マザー・テレサの本にも、今までどれほど助けられてきたか知れない。この二人の聖人の取次ぎを願っていきたい。

マルガリタ 斉 葵(8班)



「レジオマリエ」をご存じですか？



第13回

12月になりました。新型コロナウイルスに翻弄され、長く長く感じられた1年が終わろうとしています。2月26日の灰の水曜日の翌日から公開ミサが中止となり、聖週間の典礼やご復活のミサもできなくなるという前代未聞の事態に、今年にご降誕ミサに与ることができるのだろうか？と心配していましたが、いつもと違う感じとは言え、ご降誕ミサに与ることができるようになり、本当にうれしく思いました。

ミサ中止に伴い、一人暮らしの高齢の親のために掃省していましたが、徐々に感染拡大し、県をまたぐ移動自粛要請のために4か月近く帰ることができませんでした。その間、車のナンバーを見た人から冗談交じりに「このナンバーは隠した方がいいね。」と言われたり、毎月掃省する度に訪問していた、子どもの頃からよく知っている下半身不随の信者さんを訪ねた後で、訪問介護関係の筋から、他県の間人(私のことです)が出入りしていることを不安視されていると聞き、訪問を止め、電話でお話するようにしたりといったことがありました。(医療従事者や感染者への誹謗中傷に比べたら、たいしたことではありませんね…。)

また、この間に2人の叔父叔母が亡くなり、感染拡大地域に住む叔父叔母が葬儀や法要に出席したいと希望するのを、いかに波風立てずに遠慮してもらうか苦慮しているいとこたちの姿を見て、コロナ禍の残酷さを感じずにはいられません。私自身も、福岡から帰った直後に営まれた法要への出席は見合わせました。本当に残念でしたが、いとこの1人が老人介護施設に勤務しているため、その妨げになってはいけなく、と思ったからです。いとこの勤務先では、県外者と接触があった場合1週間から2週間の自宅待機をしなければならず、そうすると、本人の減収もさることながら、現場が人手不足に陥り、必要な世話ができなくなるおそれがあります。

今、北海道や東京などで感染者、しかも重傷者が増大しているため、医療崩壊寸前との報道があつていいますが、コロナの患者さんには、人手も設備も通常の患者さんの何倍か必要とのこと。また、重傷者が増えることにより、他の病気の患者さんへの対応ができなくなり、十分な医療を受けることができずに亡くなる、コロナ以外の患者さんも増えていくことになるとのことです。

ずっと気がかりなのは、施設や病院にいる方々です。少し緩和されていた面会制限が、また厳しくなり、全国的にも高齢者や病気の人たちの衰えが指摘されているようです。これまで訪問してきた信者さんのおられる施設に電話で様子を尋ねたりしていますが、しばらくこのような状態が続くと思われます。1日早いコロナ禍の終息を祈りながら、そういう方々の心身の衰えがこれ以上進まないよう祈りつつ、その時その時にできることを、やっていきたいと思っています。

こういう状況の中で、11月29日から待降節に入り、教会の暦では新しい1年が始まりました。新たな気持ちで幼いイエス様をお迎えし、ご降誕をお祝いすることにいたしましょう。

いま、私たちの救い主は幼子として生まれました。…(略)…救い主は幼子です。新しい生命です。いまからの出発です。すべては希望です。救い主は私たちに新しい出発をうながし、新しい生命の希望をともしてくれるのであります。…(略)…ご誕生の神秘は、実にすばらしい希望の神秘なのであります。(松永久次郎著「ロザリオのこころ」より)

(2020.12.8 無原罪の聖マリアの祭日に)

クリスマスに簡単ケーキはいかがでしょう？

簡単カボチャケーキ

かぼちゃの皮は取り正味 400g 砂糖 85g
(レンジでやわらかくしておく) 全卵 2個分
クリームチーズ 200g 薄力粉 16g
(レンジでやわらかくしておく) 生クリーム 200g



上記材料を全部ミキサーでガーッと混ぜる
バターを塗りペーパーを貼っておいた型に入れ 180℃ で 45 分

信徒の秘跡・異動【7月～12月】

受洗

2020 8月 マキシミアノ・マリア・コルベ森 眞 (22班)
カタリナ・ラブレ松原七海 (22班)
マリア・レジナ長田杉美 (24班)

結婚

2020 10月 ヨハネ久我尚之・亜矢 (3班)

転入

2020 10月 マチア橋口義則/アグネス橋口久美子/テレジア橋口加奈/
ヨハネ橋口拓海/アガタ橋口みなみ (20班)

転出

2020 8月 バキタ中牟田由美/マリア・クララ中牟田七美/
マリア・インマクラータ中牟田陽向 (大名町教会へ)
12月 ヨハネ華山達也 (藤が丘教会へ)



敬称略

〔編集後記〕

往来も人と会うのも制限され、今までの習慣や常識が通じなくなり、不安と閉塞感を感じてきた2020年も最後の月となった。

6日未明、久しぶりにワクワクする明るいニュースが飛び込んできた。はやぶさ2のカプセル帰還だ。初代はやぶさは映画になったくらいにドラマチックな奇跡のような満身創痍の帰還だったことに比べて、今回は「100点満点で1万点」という完璧なものだったらしい。着地点に定めた豪州ウーメラの砂漠の中のポイントを狙うために、僅かにエンジンの噴射を作動し軌道を傾けたそうだが、なんとその角度は0.0085度。これは「1キロ先にいるテントウムシの斑点を狙う」程の精度だそうだ！

「回心」とは神に立ち返ることだが、神様に向かう心の向きの角度も0.0085度とは言わないが、ほんの僅かな角度で結果は大きく変わるものなのかもしれない。

私の心の角度はきちんと神様に向かっているか？軌道の微調整を怠らないようにしなくてはーと思った朝だった。

(F・K)